

第2学年 技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

期 日：平成26年12月18日（木）

指導者：浜田市立浜田東中学校

川中 暁佳

1 題材名 「よりよい消費生活を目指そう」D（1）アイ

2 題材の目標

自分や家族の消費生活に関心をもち、消費者の基本的な権利と責任について理解するとともに、物資・サービスの選択、購入及び活用について必要な情報を収集・整理し、それらを活用して適切な選択、購入及び活用の工夫ができるようにする。

3 題材の評価規準

生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を 工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
自分や家族の消費生活について関心をもって模擬体験などに取り組み、よりよい消費生活を実践しようとしている。	物資・サービスの選択、購入及び活用について課題を見付け、その解決を目指している。	物資・サービスの選択、購入及び活用について必要な情報を収集・整理することができる。	家庭生活と消費について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。

4 学習の基盤

（1）題材観

日本の社会は戦後の大量生産、大量消費の時代から、商品の質が問われる時代へと変化してきた。情報化社会も急激に進化し、日々、多くの情報が発信されている。物資・サービスの情報もまたテレビや雑誌、インターネットなど様々なメディアを通じて提供されている。市場は、消費者の購買意欲をかき立てる新商品が次々と発売され、宣伝・広告も工夫を凝らして行われている。このように、物資・サービスが多様化する中で、それら購入する際には、自分が本当に必要としているかどうかを検討し、計画的に選択・購入できる力を身に付けなければならない。

そこで本題材では、デジタルカメラの購入シミュレーションを取り入れた。2年生は9月に実施された修学旅行にデジタルカメラを持参した生徒がたくさんいた。保護者から借りてきた生徒が多かったが、中には新しく自分用に購入して持参した生徒もいた。デジタルカメラは、見た目だけで選択することが少なく、機能や価格、アフターサービスなどを考えて選択することを学習させるには適していると考えた。デジタルカメラの購入シミュレーションでは、デジタルカメラの広告から商品の情報を読み取る力や、情報を収集・整理する力を身に付けさせることができる。そして、収集・整理した情報を活用して、自分が求めるデジタルカメラの条件に照らして考えたり、他者の選択を知ることによって、物資・サービスの選択・購入について、目的や状況に応じて考える力を身に付けることができると考えた。

（2）生徒観

省略

(3) 指導観

目的に応じたよりよい消費行動ができるようになるため、既習の学習内容を活用して商品選択のプロセスを体験する買い物シミュレーションを設定した。買い物シミュレーションでは、デジタルカメラを扱い、自作の広告3種類を用意する。実際のカatalogを用いると、情報量が多すぎて生徒が混乱することが予測されるためである。生徒に検討してほしい観点（機能、価格、支払い方法、購入場所（販売方法）、アフターサービス）を盛り込んだ広告を作成した。

中学生は、物やサービスを選ぶ際、価格とデザイン・色を重視する傾向が強いので、3種類のデジタルカメラの価格やデザイン・色の違いを小さくした。支払い方法については、無店舗販売と店舗販売に加えて、生徒に身近なポイントカードの利用も取り入れた。機能では、画質やズーム、撮影時間、持ち運びのしやすさなどを検討できるようにした。中学生の多くがSNS等を利用してインターネット上に写真を掲載している実態から、Wi-Fi機能も加えた。この他、環境に関するマークやアフターサービスに関する記述も盛り込み、環境に配慮した選択やアフターサービスについても考えられるようにした。

また、シミュレーション家族を設定し、もしも自分が中学生の歩さんだったらどのデジタルカメラを選ぶか考えさせる。生徒は、修学旅行の自主研修の経験から、持ち運びやすさや撮影時間などを考慮することが予測される。また、選んだデジタルカメラは、自分だけが使用するのではなく、その後、家族も使用することを伝え、購入後の活用や家族への思いなどにも気付けるように、シミュレーション家族に趣味を設けた。

本時では、前時に収集・整理した情報を活用してデジタルカメラの選択・購入を考える。まず、個人でデジタルカメラを選び、重視した観点をランキング（順位付け）を行う。次に、グループ活動で、選んだデジタルカメラと選んだ理由についてランキングカード（観点別に色分けしたカード）を操作しながら説明する。ランキングカードを用いることで、説明が可視化されてわかりやすくなること、グループ全員のカードが並ぶと他者と自分の価値観の違いを色で瞬時に把握できるようになることを期待する。

5 指導と評価の計画（全6時間）

時間	○ねらい ・学習活動	評価規準・評価方法			
		生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術につ いての知識・理解
1	○自分や家族の消費行動に関心をもつ。 ・自分や家族の消費行動を振り返る。	自分や家族の消費行動に関心をもっている。 【ワークシート】 【観察】			
2	○身近な契約と販売方法、支払い方法の特徴を知る。 ・これまでの買い物経験を振り返り、契約、販売方法、支払方法について話し合う。 ・身近な契約と販売方法、支払い方法をまとめる。	身近な契約と販売方法、支払い方法に関心を持ち、その利点と問題点について考えようとしている。 【ワークシート】 【観察】			身近な契約と販売方法、支払い方法の特徴について理解している。 【ペーパーテスト】

3	<p>○商品の選択、購入、活用及び意思決定プロセスを知り、デジタルカメラの情報を収集・整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車の事例を通して、意思決定プロセスをまとめる。 ・デジタルカメラの広告から情報を読み取り、ワークシートに項目別書き込む。 			<p>デジタルカメラの選択に必要な情報を収集・整理することができる。</p> <p>【ワークシート】</p>	<p>商品の選択、購入、活用及び意思決定プロセスを理解している。</p> <p>【ワークシート】</p>
4 (本時)	<p>○収集・整理した情報を活用して、デジタルカメラの選択、購入、活用について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を活用してデジタルカメラを選ぶ。 ・選んだデジタルカメラとその理由をグループで話し合う。 ・デジタルカメラを再検討する。 		<p>収集・整理した情報を活用して、商品の選択、購入、活用について考え、工夫することができる。</p> <p>【ワークシート】</p>		
5	<p>○消費者トラブルとその対処方法を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悪徳商法のロールプレイをする。 ・悪徳商法の種類と特徴についてまとめる。 ・クーリング・オフの通知文例を書く。 				<p>消費者トラブルとその対処方法を理解している。</p> <p>【ワークシート】 【ペーパーテスト】</p>
6	<p>○消費者の権利と責任を知り、消費者基本法について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者問題の事例から8つの権利と5つの責任をまとめる。 				<p>消費者の8つの権利と5つの責任、消費者基本法について理解している。</p> <p>【ペーパーテスト】</p>

※ ペーパーテストについては、ある程度の内容のまとめりごと実施する。

6 本時の学習（4／6時間）

（1）本時のねらい

収集・整理した情報を活用して商品の選択、購入、活用について考え、工夫することができる。

【生活を工夫し創造する能力】

(2) 学習の展開

学習活動	教師の支援等	評価規準・評価方法
<p>1 本時の学習のねらいを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>収集・整理した情報を利用して、商品の選択、購入、活用について考え、工夫する。</p> </div> <p>2 もしも自分が歩さんなら、A～Cのどのデジタルカメラを選ぶか考える。</p> <p>個人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルカメラを選ぶ。 ・機能、価格、販売方法、支払い方法、アフターサービスのうちどの観点を優先するか順位付けする。 <p>グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選んだデジタルカメラとその理由を説明する。 ・全員が説明したら、互いに質問やアドバイスをする。 <p>個人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の意見を聞いて、参考になったことや気付いたことをワークシートに記入する。 ・デジタルカメラを再度検討して、選択する。 <p>3 本時の学習内容を振り返り、ワークシートに自己評価を記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習を振り返り、本時のねらいを知らせる。 ・すべての観点を重視する必要はないことを説明する。 ・ランキングカードを操作しながら説明するよう助言する。 ・質問やアドバイスが少ないグループには助言する。 ・デジタルカメラの再検討が終了した生徒には、想定家族の構成や趣味などからデジタルカメラの活用方法について考えさせる。 ・多くの観点で検討した生徒、活用や家族や環境への配慮にまで検討が及んだ生徒に発表させる。 	<p>収集・整理した情報を利用して、商品の選択、購入、活用について考え、工夫することができる。</p> <p>【ワークシート】</p>

(3) 本時の評価

十分満足できると判断される生徒の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	支援を必要とする生徒への手立て
<p>収集・整理した情報を基に、機能、価格、支払い方法、販売方法の観点に加えて、アフターサービス、活用方法、家族や環境への配慮まで考えて選択している。</p>	<p>収集・整理した情報を基に、機能、価格、支払い方法、販売方法の観点で考えて選択している。</p>	<p>収集・整理した情報を基に、機能や価格などの言葉を使って考えるように助言する。また、わかったことや気付いたことを、具体例を示す。</p>

7 研究の視点

次の①②は、生徒一人一人の考える力を伸ばすのに有効であったか。

①教材開発

さまざまな観点で比較・検討できる自作の広告

②指導方法

ランキングカード（価値観の順位付け）を用いた話し合い活動